

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称	中央区笹出ビル	
建設地	中央区 南笹口1丁目地内	
用途地域	商業地域、準防火地	
建物用途	飲食店、集合住宅	
竣工年	2016年6月 竣工	
敷地面積	1,017.60 m ²	
建築面積	378.28 m ²	
延床面積	2,947.29 m ²	
階数	地上9F	
構造	RC造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2015年4月15日	

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{52.2}{45.6} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.2		バリアフリー	3.0
			維持管理	3.5
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.9		耐震・免震	3.0
			信頼性	2.8
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.1		建物の熱負荷抑制	3.1
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.3		節水	4.0
			リサイクル材の使用	4.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全・創出	3.0
			敷地内温熱環境の向上	3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.5		まちなみ・景観への配慮	4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

- 長寿命化の取組み: バルコニー(庇)で外壁材の劣化を抑制している, また, 耐久性の高い外壁材を採用し建物の長寿命化を図った。
- 資源循環の取組み: リサイクル資材を採用し, 部材の再利用を考慮した計画。
- 新潟のまちなみへの取組み: 新潟駅周辺の高層建築物と調和した立面計画。

CASBEE[®]新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	中央区笹出ビル	階数	地上9F
建設地	新潟県新潟市中央区	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	70人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	飲食店、集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年6月 竣工	評価の実施日	2015年4月15日
敷地面積	1,018 m ²	作成者	後藤 武明
建築面積	378 m ²	確認日	
延床面積	2,947 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★☆☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 97%
③上記+②以外の 97%
④上記+ 97%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 3.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.4

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 ライフサイクルコストの削減、耐久性の高い材料を選定し、建物の長寿命化を図る。		その他
Q1 室内環境 建物外周部にバルコニー(庇)を設けることで、夏季の直射日射を遮り空調負荷の軽減を図る。	Q2 サービス性能 設備の更新を考慮した逆梁工法を採用し、衛生設備等の維持管理がしやすい構造を計画。	Q3 室外環境(敷地内) 新潟駅周辺の高層建築物と調和した立面計画。
LR1 エネルギー 外周部のバルコニー(庇)と複層ガラスを採用し熱負荷を抑制し、省エネルギー化を図る。	LR2 資源・マテリアル 非構造材のリサイクル材を採用し、資源の有効活用を図る。	LR3 敷地外環境 適切な量の駐車場を確保し、交通負荷抑制を図る。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される